

第3回 資料の収集(1)

文献検索（図書館の利用）

実際に図書館へ行って、図書館の利用について説明を受けます。

- 兵庫大学図書館: <http://media.hyogo-dai.ac.jp/lib/>
- 兵庫大学 OPAC (オンライン蔵書目録): <http://harmonis.lib.hyogo-dai.ac.jp/mylimedio/>

大学図書館のサービスの利用

- 資料の貸出
- レファレンス・サービス (「調べもの、探しもの、お手伝いします」)
- コピー・サービス
- 他大学の図書館などの利用
 - 閲覧: 他大学の図書館を利用できるように「閲覧依頼書」を発行
 - 複写: 文献のコピーを取り寄せる
 - 借用: 文献そのものを借りる
- 購入リクエスト

図書館の資料

資料の種類

- 参考図書 (レファレンス・ブック): 学問全般について知りたい場合に役立つ
 - 辞書、事典、百科事典、年間、統計資料、白書、文献目録など
- 新聞: 比較的新鮮な情報を入手できるが、情報が断片的な場合がある
 - 一般紙 (全国紙: 毎日、読売、朝日、産経、日本経済、地方紙: 神戸新聞など)
 - スポーツ紙・レジャー紙 (日刊スポーツ、サンケイスポーツなど)、専門誌、業界紙、機関紙、広報紙
- 図書 / 単行本: 特定分野の知識が体系的にまとまっているが、できあがるのに時間がかかる
 - 文庫本、新書、専門書など
 - 一次資料 (オリジナルの資料) と二次資料 (一次資料に基づく資料; 年鑑、索引、蔵書目録も含む)
- 雑誌、逐次刊行物 (定期刊行物): 特定分野の現状や新しい話題について、詳しい情報が得られて、内容もコンパクト
 - 一般雑誌 (月刊誌、週刊誌など)
 - 学術雑誌 (学術雑誌、論文誌、講演論文集、学術定期刊行物など)
- インターネット上の情報: 情報の量は多いが、書き換えや削除されることがあるので、再検証しにくい
 - マスコミのサイト (新聞やテレビなど報道機関)
 - 行政 (政府や自治体)、企業・各種団体のサイト
 - フリーの百科事典 (Wikipedia など)、まとめサイト、個人のサイト (日記、ブログ など)

図書館での資料の分類

- 日本十進分類法 (NDC : Nippon Decimal Classification)
 - 資料の背に張られたシールに書かれている番号
 - 資料のテーマ (主題、分野) ごとに分かれている (例) 芸術 → スポーツ、体育 → 球技 : 「783」

参考文献の利用

引用と剽窃（ひょうせつ）

レポートなどの自分の文章に、他の人の書いた文章を取り入れることを「引用」といいます。引用のしかたには、あるきまった作法があります（後日説明します）。

他の人の文章を自分の意見のように書くことは、「剽窃（ひょうせつ）」、つまり盗作やカンニング扱いとなります。自分の文章が「主」、他の人の文章が「従」の関係となるように、引用は必要最低限にとどめることが求められます。

参考文献リストの書き方

引用したり参考にした資料・文献があれば、その出典（情報の出所）を「参考文献」として書きだしておきます。リストとしてまとめておきましょう。

参考文献として示すのに必要な情報は、書籍の場合は奥付（巻末の著者・出版社などの情報が書かれた部分）に書かれています。

1. 単行本（単著、共著）

- 書式： 著者名 （出版年） 書名 出版社名 .
 - 例：安田雪 (2001) 実践ネットワーク分析 新曜社 .
 - 例：増田直紀・今野紀雄 (2005) 複雑ネットワークの科学 産業図書 .

2. 単行本（編著）

- 書式： 編著者 （出版年） 書名 出版社名 .
 - 例：佐藤嘉倫・平松閣編 (2005) ネットワーク・ダイナミクス 勁草書房 .

なお、参考文献のリストを書くときには、次のことに注意してください。

- 複数の参考文献を書くときは、著者名の名のアルファベット順に並べる
- 同じ著者で、同じ発行年（出版年）の文献を挙げる場合は、発行年の後に a、bとアルファベットを追記しておく
- 参考文献の示し方には、分野や年代によって書き方の違いがあること（ただし、何を書くかはだいたい同じ）

参考文献

- 学習技術研究会編著「知へのステップ 第4版」, くろしお出版 (2015.04)
- 専修大学出版企画委員会編「知のツールボックス」, 専修大学出版局 (2006.04).
- 佐藤望編著, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦「アカデミック・スキルズ」, 慶応義塾大学出版会 (2006.10).
- 科学技術振興機構「参考文献の役割と書き方 科学技術情報流通技術基準 (SIST) の活用」, http://sti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf (参照 2013-07-01).
- 南田勝也・矢田部圭介・山下玲子「ゼミで学ぶスタディスキル」, 北樹出版 (2011.04)

課題

自分が興味のあるテーマについて、キーワードを複数考えて、そのキーワードを使って、大学の図書館の文献検索をしてください。

検索結果から読んでみたいと思う本を5冊選んで、ワークシートに参考文献リストとしてまとめてください。

次回（5月7日）：「資料の収集 (2)」

- パソコンやインターネットを活用した情報収集
- アイデアを引き出してまとめる（発想法）